

もう少し待ってください。



きっと笑顔でお墓参りに行けるようになるからね。

あたしもう六年生だもん。

もうお母さんが

見守ってくれないでも平気だよ。



雅也、

たくさんの友達残してくれて、

ありがとう。

お母さんの子であることを、誇りに思います。



おばあちゃん、どうしてそんなに、

心配ばかりさせる僕に

尽くしてくれたのですか。



## 第2回 今は亡きあの人へ伝えたい言葉

今は亡き“あの人”に伝えたい想いを募集します。

父母、祖父母、先生、友人、近所の人など、“あの人”とかつて一緒にいた時に言えなかったこと、思い出や、“あの人”が亡くなった後に伝えたくなかったこと、感謝の気持ちなどを手紙に綴ってください。亡き人を弔う「お葬式」や「お仏壇」、「お墓」でのエピソードなどを交えた手紙も歓迎します。

## 第2回 今は亡きあの人へ伝えたい言葉

### 募集テーマ

今は亡き“あの人”に伝えたい想いを募集します。

父母、祖父母、先生、友人、近所の人など、“あの人”とかつて一緒にいた時に言えなかったこと、思い出や、“あの人”が亡くなった後に伝えたくなくなったこと、感謝の気持ちなどを手紙に綴ってください。亡き人を弔う「お葬式」や「お仏壇」、「お墓」でのエピソードなどを交えた手紙も歓迎します。

### 応募期間

2011年3月1日(火)～5月31日(火) 必着

### 入賞発表

2011年7月中旬(旧盆)頃を予定

「今は亡きあの人へ伝えたい言葉」実行委員会事務局が運営するWEBサイト等にて発表します

### 賞品

● 金賞・賞状および現金 10万円(1名様) ● 銀賞・賞状および現金 3万円(5名様)

● 銅賞・賞状および現金 1万円(10名様) ● 佳作・QUOカード 500円(100名様)

入賞・佳作作品は後日、「今は亡きあの人へ伝えたい言葉」として単行本化し、無料贈呈(1冊)します。

※金・銀・銅賞の方には、「賞状および現金」をお送りし、後日「単行本」をお送りします。佳作の方には、「単行本」が出来上がった段階で「QUOカード」と一緒にお送りします。

### 選考委員

塚崎 智氏(元大阪大学文学部部長、行信寺名誉住職) 毛利 恒之氏(作家、シナリオライター)

清水 憲二氏(株式会社鎌倉新書 取締役会長)

### 応募規定

400字詰原稿用紙2枚(800字)程度。提出は原稿用紙である必要はありません。形式は自由ですが、創作は対象外となります。作品に関連する写真がある場合は同封や添付してください。別紙に、①氏名(ふりがな)※ペンネームは不可 ②年齢 ③性別 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦何を見て応募したか ⑧作品タイトル ⑨誰に宛てた手紙か(例:父、祖父、友人、妻など) ⑩応募した作品が一般に公開される場合、本名公開可能か(不可なら仮名、ハンドルネームを記してください)

### 応募先

右のいずれかの方法でご応募ください

①「今は亡きあの人へ伝えたい言葉」実行委員会事務局(株式会社鎌倉新書内)宛で応募する【実行委員会事務局の宛先】(WEBサイト、郵送、FAXで受け付けます)

◆ WEB サイト <http://www.tsutaetai.net/>

◆ 郵送 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3-2 株式会社鎌倉新書内  
「今は亡きあの人へ伝えたい言葉」実行委員会事務局

◆ FAX 03-4570-5865 「今は亡きあの人へ伝えたい言葉」実行委員会事務局

② 近くの実行委員会参画者・会社宛で応募する

### 応募作品についての注意

① 応募作品は、出版物として書籍化し、またWEBサイトのコンテンツとして掲載します。応募者は応募の時点で作品を公表することに同意したとみなさせていただきます。

② 応募された作品の著作権を含む著作権のすべては株式会社鎌倉新書に帰属し、応募作品は返却いたしません。

### お問合せ先

「今は亡きあの人へ伝えたい言葉」実行委員会事務局 TEL. 03-3662-2558